

令和4年度第1回西伊豆町地域公共交通会議 議事録（要旨）

日 時：令和5年1月10日（火） 午前10時～午前10時40分

会 場：西伊豆町福祉センター 2階 大会議室

出席者：委員12名、事務局2名、オブザーバー1名（東海自動車）

協議内容（結果）

☑株式会社東海バス松崎営業所長 青木氏を副会長に選任。

☑令和5年度運行に係る協議事項について

- ・西海岸線、バサラ峠線を事業者地域幹線系統として運行【承認】
- ・宇久須松崎線を事業者市町単独補助系統（県バス路線維持費助成費補助、町補助路線）として運行【承認】
- ・神田宮ヶ原線、神田松崎線の2系統を町の自主運行とし、事務局提案の運行計画により運行【承認】

1 開会（事務局）

皆様、おはようございます。ただ今から、令和4年度第1回西伊豆町地域公共交通会議を開催します。本日は、町長がインフルエンザに感染しまして自宅療養中のため、欠席とさせていただきます。まず初めに、令和5年1月で委員の皆様の2年間の任期が満了となりますので、町長からお一人ずつ委嘱状の交付をする予定でしたが、欠席となりましたので、事前にお席のほうに委嘱状を配らせていただいております。すみませんが、御了承ください。

2 会長挨拶（事務局代読）

町長より挨拶を承っておりますので、代読させていただきます。「本日はお忙しい中、西伊豆町地域公共交通会議に御出席いただきありがとうございます。さて、公共交通の維持に努める中、昨今のバス利用者の減少につきましては、人口減少の著しい当町においても例外ではありません。地域住民の有効な交通手段である公共交通の維持は、大変重要な施策の一つであると考えております。この地域公共交通会議は、町民の皆様の生活に必要なバス輸送の確保や利便性の向上を図るために、何が必要となるのかを協議する場であります。自主運行バスなどの来年度の運行について、その必要性等を協議したていただきたいと思います。皆様には忌憚のない御意見をいただき、より良い運行方法を検討してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。」以上、代読で失礼いたします。

3 議事

(1) 副会長の選任について（事務局）

事務局：それでは、ここから議事に移らせていただきます。先ほど申し上げましたとおり、任期満了ということがございますので、副会長の選任を一つ目の議事とさせていただきます。副会長の選任につきましては、西伊豆町地域公共交通会議設置要綱第4条において、会長が副会長を指名するとあります。町長から東海バスの青木様をお願いしたいという言葉をいただいておりますが、皆様よろしいでしょうか。

委員：異議なし

事務局：ありがとうございます。それでは異議なしということで、青木様に副会長をお願いしたいと思います。青木様、よろしくお願いいいたします。それでは、これ以降の議事進行につきましては、会長代理として副会長の青木様をお願いいたします。

(2) 令和5年度運行に係る協議事項について（副会長）

副会長：私は昨年の6月に松崎営業所に来たばかりですが、副会長の御承認をいただきありがとうございます。私自身も、地域の人口減少などの課題を抱えている中で、町長の挨拶でもありましたように、地域公共交通の確保というのは喫緊の課題であると考えております。皆様方に改めて御意見をいただきながら、より良い交通手段を確保できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。早速ではあります。議事の(2)の令和5年度運行に係る協議事項について、事務局のほうから説明をお願いいたします。

<事務局及び事業者からの説明>

「1. 事業者地域幹線系統」について

【事務局説明】

東海バスより令和4～7年度の乗合バス路線の運行について、単独継続困難の申出あり。静岡県生活交通確保対策協議会において令和3年10月14日から28日の間公表されたが、代替運行の申し出は無かった。

国庫補助の適用を受けるには、沿岸市町の地域公共交通会議の承認が必要であることから別紙のとおり協議をお願いしたい。路線としては西海岸線とバサラ峠線の2路線。詳細については事業者から説明。

【事業者による説明】（東海自動車：加藤 様）

○西海岸線

- ・修善寺駅から船原峠を越え、旧土肥町、西伊豆町を通り、松崎町の松崎を結ぶ54.4kmの長距離路線。
- ・鉄道のない西伊豆地区住民の通勤、通学、通院、買い物等の移動手段として重要な

役割を担っている。

- ・土肥温泉、堂ヶ島、松崎等への観光客の足としても欠かすことのできない路線であることから、弊社では幹線系統として位置付けている。
- ・市町を跨いでいる人員は、365人中283人（77.5%）
- ・平成29年度から欠損が生じるようになってきたことから、平成31年4月に大幅なダイヤ改正を行い、大幅な収支改善ができたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度は再び欠損が生じている。地元利用者の回復に比べて観光客の回復が鈍く、引き続き収支状況は厳しいものがあることから、国庫補助による支援をいただきたく、申請するものである。

○バサラ峠線

（下田駅～堂ヶ島）

- ・伊豆急下田駅から下田市と松崎町との境となるバサラ峠を越え、松崎、堂ヶ島を結ぶ30.6kmの長距離路線。
- ・西海岸線同様、鉄道のない西伊豆地区住民の足として重要な役割を担っている。
- ・松崎、堂ヶ島への観光客の足としても欠かすことのできない路線。

（下田駅～宇久須駅）

- ・当該路線は、バサラ峠線のうち宇久須まで運行する路線で、40.1kmの長距離路線。
- ・下田駅～宇久須駅間については、堂ヶ島までの距離30.6kmに対し、20%以上の距離があることから、別路線として2路線での申請となる。
- ・利用者は、堂ヶ島までの路線と同様で、さらに堂ヶ島～宇久須間から下市内への通学、通院等を目的とした理由がある。
- ・市町を跨いでいる人員は、361人中237人（65.6%）
- ・バサラ峠線は、自社路線として運行しており、西伊豆地区の利用者が減少傾向にあったことから、西海岸線とともに平成31年4月に大幅なダイヤ改正を行い収支改善ができたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度から再び欠損が生じており、国庫補助による支援をいただきたく申請するものである。

「2. 事業者市町単独補助系統」及び「3. 自主運行バス」について

【事務局からの説明】

補助及び自主運行はそれぞれ関連があるため、一括で説明。

○宇久須・松崎線（補助（過疎）バス）

令和4年度の宇久須・松崎線の運行方法については、令和4年1月12日に開催した西伊豆町地域公共交通会議において必要不可欠な生活路線として、町から補助金を交付して路線バスの運行を維持することが承認された。地域住民にとって必要不可欠な路線であると認められるため、令和5年度も引き続き町からの補助路線として運行を維持したい。

・運行本数は13本、年間経常収益額5,969千円、年間経常費用額24,611千円、年間経常損益額18,642千円の赤字が見込まれる。これは、昨今の原油価格の高騰や新型コロナウイルス感染症の影響による貸切バス事業の低迷から乗合バス事業への費用配分額が高くなったことが要因。

○神田・宮ヶ原線及び神田・松崎線（自主運行バス）

中学校の統合に伴い、令和3年8月26日開催の西伊豆町地域公共交通会議において、新たに町の自主運行として運行することが承認された。児童、生徒の通学に必要不可欠であると認められるため、令和5年度も引き続き自主運行バスとして路線の維持をしたい。

・神田・宮ヶ原線は、運行本数が6本、年間経常収益額6,810千円、年間経常費用額17,513千円、年間経常損益額10,703千円の赤字が見込まれる。また、神田・松崎線は、運行本数が5本、年間経常収益額5,679千円、年間経常費用額6,593千円、年間経常損益額914千円の赤字が見込まれる。これは、宇久須・松崎線と同様、昨今の原油価格の高騰や新型コロナウイルス感染症の影響による貸切バス事業の低迷から乗合バス事業への費用配分額が高くなったことが要因。

・時刻表については、中学生の下校時間が日没時間などの影響で季節で変わるので対応できないか、との要望があったため、中学校、東海バス、町の3者で協議し、夕方の時刻を3パターン化した。

【質疑応答】

副会長：議事の（2）についての説明が終わりました。ただ今の説明で、何かご質問等がある方は、お願いしたいと思います。

委員：自主運行バスの神田・宮ヶ原線で、年末年始において運休したが、そのことについて、利用客から問い合わせや苦情はありましたか。

事務局：町への問い合わせや苦情はありませんでした。

東海バス：運行しているかという問い合わせはありましたが、苦情はありませんでした。運行について、バス停に事前告知は貼らせていただいておりますので、それで対応できたのではないかと思います。

委員：分かりました。

副会長：その他、ございますでしょうか。

委員：東海バスさんに教えていただきたいのですが、西海岸線において、今年度、駿河湾フェリーを利用し貸切バスで、松崎までの運行をされていたかと思います。並行して伊豆海岸線が走っている関係があるのですが、西海岸線の影響ですとか、そのあたり、数字的には分からないかもしれないのですが、分かれば教えていただきたいことと、東海バスさんで分るかどうかですが、来年度以降の駿河湾フェリーさんとの予定はどうなっていますか。

東海バス：数字的なものは表しにくいところですが、ただ、フェリーターミナル経由のバスについては、下から乗車をされるというお客様は、ほぼいなかったと思います。それから、来年度につきましても、ルートを検討などの必要はあると思いますが、前向きに検討していきたいと思います。

委員：あのバスは予約制で、予約しないと乗れないということではなかったですか。

東海バス：はい。フェリーのほうで予約をしてもらってということになります。

委員：分かりました。

副会長：その他、ございますでしょうか。

委員：ICカードについて、西伊豆町の方のICカードの利用の割合は分かりますか。

東海バス：西伊豆町の方かどうかという把握はしておりません。バス利用のお客様ということであれば、休日等は観光のお客様の御利用がほとんどだと思いますので、6割近くになってきているかなというところで、平日は5割程度かだと思います。

委員：ICカードを入手しようとした場合、JRの駅まで行くのが基本だと思いますので、なかなか入手しづらいと思うのですが、西伊豆町においても販売する機会を設けたりしますか。

事務局：東海バスさんから、昨年、松崎営業所で6月に販売するという連絡がありましたので、町内回覧で告知しました。今後も松崎営業所で販売するタイミングがありましたら、告知ができればと考えております。

委員：分かりました。

副会長：その他、ございますでしょうか。

委員：西伊豆町ではありませんが、松崎町の池代線で何かあると聞いていますが、内容について、ここで教えてもらうことはできますか。

東海バス：本日、この会議の後に、松崎町の地域公共交通会議での議事となりますので、ここで話しすることはできません。

委員：分かりました。

副会長：その他、ございますでしょうか。

委員：質疑なし。

副会長：それでは採決を取ります。ただ今、説明のありました「令和5年度運行に係る協議事項」について、御承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

副会長：ありがとうございます。挙手全員により承認とさせていただきます。

⇒令和5年度運行について、事務局提案のとおり承認。

- ・西海岸線、バサラ峠線を事業者地域幹線系統（国庫補助路線）として運行。

- ・宇久須・松崎線を事業者市町単独補助系統（県バス路線維持助成費補助及び町補助路線）として運行。
- ・神田・宮ヶ原線及び神田・松崎線の2系統を町の自主運行として運行。

副会長：それでは、（3）その他につきまして、何かありましたらお願いします。

委員：神田・宮ヶ原線ですが、宮ヶ原では、ほとんど学生しか乗らない状況です。無くなったら困りますが、もっと小型のバスにすることはできないのでしょうか。

東海バス：以前にもそういった御意見をいただきましたが、宮ヶ原だけを考えれば小型バスでも対応できるのですが、長距離の移動となり、神田から宮ヶ原までの間での利用は全部で120人くらいあるかと思います。

西伊豆中学校：現在、120人の中学生がいますが、そのうち100人ちょっと、35、6人ずつが3台のバスに分かれて通学している状況です。

東海バス：最終的には、定席以上の利用がありますので、バスを小型化することは難しい状況です。

委員：分かりました。

副会長：その他、ございますでしょうか。

委員：意見なし。

副会長：それでは、これで議事については終了し、進行を事務局に返したいと思います。

事務局：副会長ありがとうございました。それでは国土交通省静岡運輸支局の風岡様から、配布資料の最後の資料について御説明いただきたいと思います。

- ・バス停の安全性確保対策の進捗状況について（中部運輸局：風岡 様） 省略

4 閉会（事務局）